

研修プログラム概要

研修期間	2	年間
研修病院（代表病院）	大阪急性期・総合医療センター	
研修協力病院（パートナー病院）	大阪国際がんセンター	
研修協力病院（パートナー病院）	大阪はびきの医療センター	
研修協力病院（パートナー病院）	大阪母子医療センター	
研修協力病院（パートナー病院）	大阪精神医療センター	

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修者所属病院	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】		3ヶ月	1年目(4-7月)	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C 精神C	・基本的な調剤・鑑査、疑義照会手技の確立、製剤、注射薬調剤 ・散剤・水剤・軟膏の混合調製手技の習得
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】		2週間	1年目(9月上旬)	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C 精神C	・流通上管理が必要な医薬品の発注・入庫・払出 ・出荷調整の情報確認、代替薬の検討 ・麻薬、向精神薬、毒薬等の管理実務
必修	(3) 医薬品情報管理(D1) 【2週間～1ヶ月】		2週間	1年目(9月下旬)	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C 精神C	・D1室専従研修、質疑応答の実践 ・新薬採用審査における評価資料の作成 ・イエローレター、ブルーレター、DSUなど医薬品情報の共有と対応
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	精神C	6ヶ月	1年目(12-2月) 2年目(5-7月)	急性期C はびきのC 国際がんC 母子	・内科系・外科系を各3ヶ月ローテーション ・担当患者を持ちカンファレンスへ参加 ・症例報告(内科・外科系 合計10症例)の作成
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	急性期C はびきのC 国際がんC 母子	1ヶ月	1年目(3月)	精神C	
必修	(6) 医療安全 【全期間】		全期間	通年	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C 精神C	・インシデントレポート分析、KYT(危険予知訓練) ・リスクマネジメント部会への参加
必修	(7) 感染制御 【全期間】	精神C	全期間	通年	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C	・ICTラウンド同行、抗菌薬使用届出の確認 ・標準予防策(手指衛生等)の実践
必修	(8) 地域連携 【全期間】	精神C	全期間	通年	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C	・トレーシングレポート運用、退院時サマリー作成 ・プロトコルによる疑義照会対応
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	精神C	2週間程度	1年目(8月上旬)	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C	・高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 ・閉鎖式接続器具(GSTD)の適正使用指導
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	母子C・精神C	1か月	1年目(8月)	急性期C 国際がんC はびきのC	・レジメンチェック、支持療法提案 ・外来化学療法室での薬剤師外来(面談)の実践 ・連携充実加算などの薬業連携 ・緩和医療
選択	(11) TDM	精神C	随時	1年目(12月以降)	急性期C 国際がんC はびきのC 母子C	・抗菌薬・免疫抑制剤等の解析・投与設計レポート作成 ・解析ソフトの運用管理
選択	(12) 専門領域 (IGU・小児・産婦人科 ・精神科の薬物治療等)	がんC・はびきのC 母子C・精神C	1か月程度	2年目(8月-3月)	急性期C	・救急 ICU SCU CCUなど集中治療
		急性期・母子C がんC・精神C	1か月程度		はびきのC	・感染(結核・地域連携含む)
		がんC・精神C	1か月程度		母子・はびきの・急性期	・小児医療 周産期
		急性期C・がんC はびきのC・母子C	1か月程度		精神C	・精神 在宅研修と同時に行う
選択	(13) その他		(任意)	2年目(3月)	急性期C	・1年間の総括として院内または学会での症例発表 ・ポートフォリオの作成

補足事項